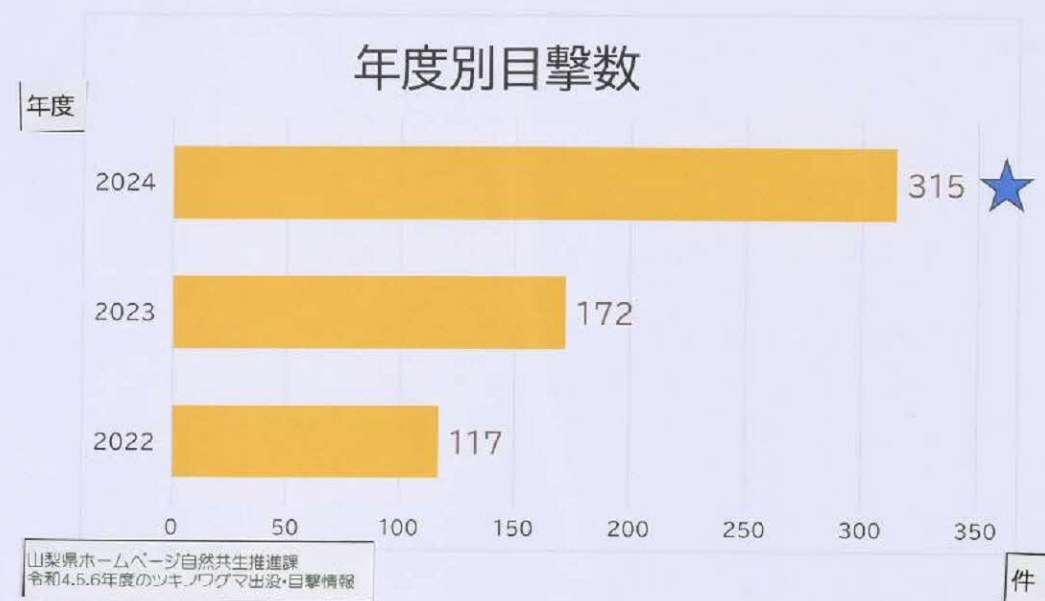
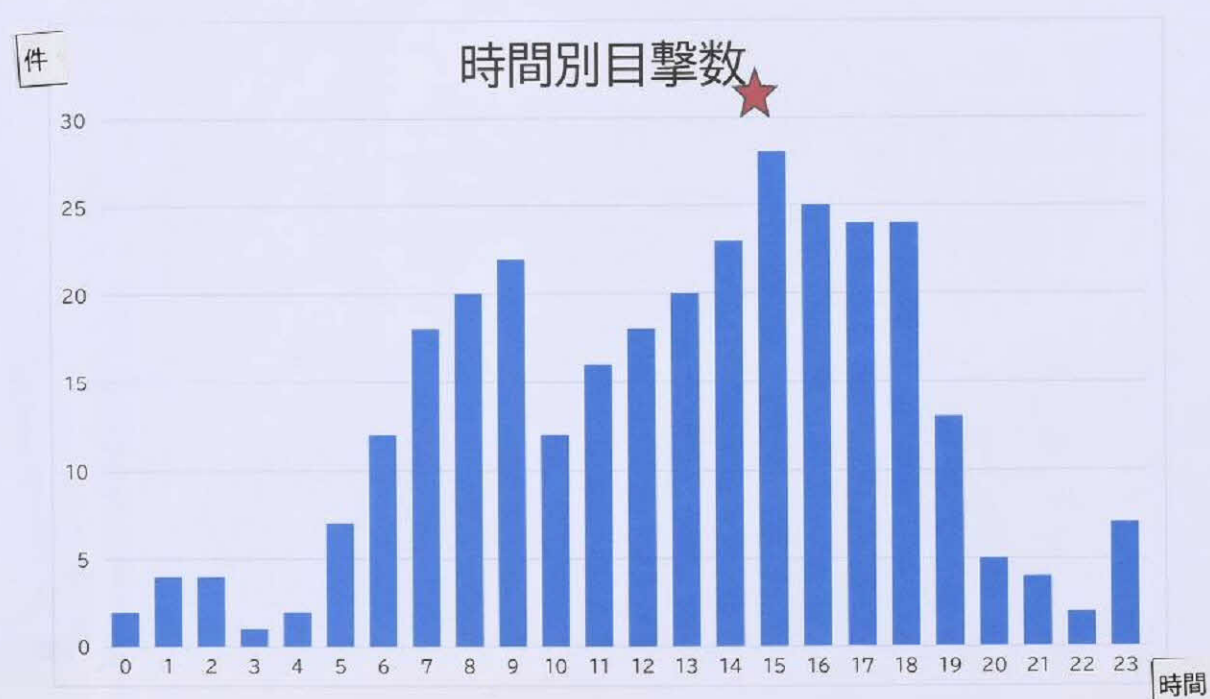




昨年から目撃数が倍増している。

2025年も8/4時点で114回目撃されている。



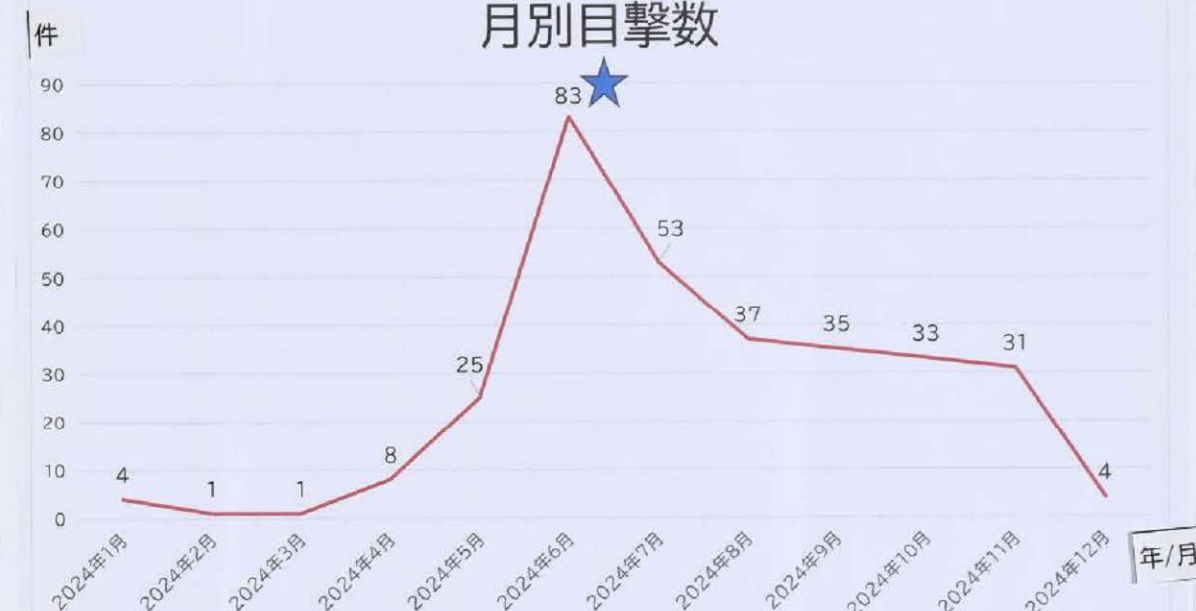
目撃が多い時間帯は15時～18時だった。クマは早朝と夕暮れ時に多いと言われているが、**日中も目撃が多いことから、日中も行動していることが分かった。**

人への被害



人への被害は少ないが**ある**

月別目撃数



山梨県ホームページ自然共生推進課
令和6年度(2024年度)のツキノワグマ出没・目撃情報のデータを使用しグラフにしました。

環境省 HP クマの生態より

- ・冬眠・出産(11月下旬～5月)
- ・繁殖期・分散期(6～7月)親から離れた若いオスは出生地から離れた場所へ移動する。
- ・飽食期(10～11月) 冬眠に備えて食欲が増す時期であり、多くの餌を求めて行動が活発になる。

グラフからも6月から11月までが多く目撃されているのがわかる。しかし、5月から増えているのと12月から3月にかけても目撃されていることから、気候の温暖化でクマの一年の過ごし方も変わってきているかもしれない。

まとめ

クマの被害をなくすにはクマとの遭遇を避けることが大切だ。春から秋にかけては目撃数も多いとグラフからも分かった。また、人間の活動時間とのずれがあるため、目撃数とは相関していないが、クマの活動時間は明け方と日暮れ時と言われているので注意が必要と思った。

出没しやすいところにはクマの監視カメラが設置されるともっとクマの活動時期や時間、天気などが分かると思う。